

かられ、夕に糞られ食はれ、やがて明日になると、寄宿舎一隅小屋を賑はすばかりでないか、あはれなるかな——以下他の日書足すこととしよう。

(三宅)

●新著紹介

フライツシエル氏動物學教科書(訂正三版)

徳淵 永治郎

Fleischer, F.—Lehrbuch der Zoologie für

Landwirtschaftsschulen.(1902)

本書は表題の如く主として一の動物教科書なるも其内容たる農用動物の記事に富み且文章平易にして而も趣味多く圖書鮮明其數四百三十九就中人體解剖圖の九個は恰も天然の彩色を施こしたるが如し又各部の區別明確なり本文の頁數五百十七、價貳圓九善本店に於て發賣せり是れ啻に農業學校に於ける動物、生理昆蟲等の教授に參考書として適良なるのみならず師範中學の該科教授にも便益を與ふること尠なからざるべし。

本書は分ちて二編となし其體裁は第一系統動物學第二人畜解剖及生理學となし第一編に於ては人種及人體解剖論

を以て脊椎動物に始まり次に左右相稱の無脊椎動物を記し尋て棘皮腔腸動物を論じて原生動物に終る而して本編頁數中凡二分の一は悉く昆蟲の記事を以て充すに拘はらず棘皮動物の如きは僅々二ページに足らずして一般各動物門に於ける記載上の衡を失せるが如きは稍遺憾なき能はずと雖ども寧ろ之れ本書の目的にかなひたるものか第二編に於ては骨、筋肉、神經、皮膚、營養、排泄、生殖等の諸系統を順次に論じ各系更に解剖と生理とを叙述せるものにして本編は人畜の比較生理學と見做すべきなり。要するに現今我國中等教育に於ける人身生理と動物とを教授するに際し好侶伴たるの一書となすべきなり。

●昆蟲標品製作全書

名和昆蟲研究所編輯部編

本書は昆蟲叢書の第二編として名和昆蟲研究所より出版せられたるものにして目次凡例等を除きて百三十三頁二枚の口繪の外五十の木版圖を挿む。

第一より第三章までは昆蟲標品の價值、本邦に於ける標品製作法の沿革及今日まで本邦にて出版せられたる標品製作書に付いて記述し第四より第七章までは採集法(時

(380)

雜 報

節、時刻、場處、處置を説き幼蟲、蛹の飼養法)に及ぶ
第八より第十章までは本書標題通り製作法製作用器具標
品排列及保存法を詳述す。

されば昆蟲研究志望者の爲には親切なる手引きの一たる
べく處置の當否技術の巧拙等に關しては斯道に明るき人
の批評あるべければ其内本誌に掲ぐることを以てこゝに
はたゞ紹介まで。

雜 報

●九月中本會は例會を開かず

●九月中本會に領收せし邦文圖書左の如し

東洋學藝雜誌	二六三
植物學雜誌	一九八
地質學雜誌	一一九
地學雜誌	一七七
東京醫學會雜誌	一七〇、一七、一八
國家醫學會雜誌	一九七
成醫會月報	二五八
昆虫世界	七〇九
大日本水産會報	二五三
大日本農會報	二六五
大日本蠶桑會報	一三六

京都醫事衛生新誌
新農報

北海道農會報

農科大學學術報告

一二四

五六

三二

五〇三、四

三四

